

鹿児島県

# 母子会だより



9/29日  
第48回  
鹿児島県  
母子寡婦父子家庭  
大運動会



9/10日  
第66回  
鹿児島県母子寡婦  
福祉研修大会  
ハーモニカ演奏



10/12日  
金栗四三生家へ  
九州大会参加者(一部)



10/13日・14日  
第66回  
九州地区  
母子寡婦研修大会  
in 長崎



発行所 社会福祉法人 鹿児島県母子寡婦福祉連合会(鹿児島県社会福祉センター内)  
鹿児島市鴨池新町1番7号 電話099-258-2984 FAX099-296-8123  
URL <http://www.kaboren.jp/> E-mail [kken-bosikai@orion.ocn.ne.jp](mailto:kken-bosikai@orion.ocn.ne.jp)  
発行人 久保 郁子

# 新年のご挨拶

鹿児島県母子寡婦福祉連合会  
理事長 久保 郁子



新年、明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えの事とお慶び申しあげます。平成から令和へと元号が変わった昨年、台風や地震、豪雨など自然災害の恐怖を身近に感じる一年でしたが、鹿児島県でも各地で災害が発生し大変な年となりました。

さて、県母子寡婦会の事業計画も、七月の母と子の一泊研修を皮切りに、母子寡婦福祉研修大会、母子寡婦父子家庭大運動会、長崎での九州地区研修大会参加と順調に実施する事が出来ました。これも会員の皆様のご協力のおかげだと、深く感謝しております。十月以降は各地区の研修大会に参加いたしました。それぞれの地区の特色を生かした講演会やアトラクションなど、理事長として改めて勉強

させていただきました。現在、母子寡婦会では高齢・会員の減少・後継者不足のため支部の減少がみられます。少しでも若い母子の会員を増やし、母子寡婦会を守ってまいりたいと思います。昨年の流行語大賞はラグビーワールドカップで活躍した日本代表チームのテーマ『ONE TEAM』でした。鹿児島県母子寡婦会も心を一つに『ONE TEAM』で頑張っていきたいと思います。

## 第66回鹿児島県母子寡婦福祉研修大会

**日時** 令和元年9月10日(火)  
**場所** 鹿児島市民文化ホール (第2)

**内容** 大会スローガン 『つなごう人の輪、守ろう地域の輪』  
未来を担う子ども達の貧困の解消やひとり親家庭及び寡婦の福祉の向上を目指して研修討議を行い、更なる充実強化を図ることを目的として、この大会が開催されました。

**講師** ジミー入枝氏  
**演題** 「鹿児島発信の音楽芸能」

ジミー入枝氏は、いちき申木野市羽島出身。講演では、ご自身の音楽・芸能の体験談や、60年代に流行した「ドゥーワップ」の曲も織り交ぜながら、参加者を魅了していました。最後の茶わん蒸しの歌では、参加者も一緒に体を動かし歌いながら盛り上がりました。

### 表彰者

- 鶴留 ヒサ子
- 丸野 充子
- 岡留 孝子
- 奈良島 昭子



## 第66回県研修大会

始良・伊佐地区 丸野 充子

令和初年度の研修大会、今年度は始良伊佐地区が担当で、早くから県母連と始良の行政のご協力を頂きながら打合せを重ね、九月十日を迎える事ができました。オープニングは始良霧島ハーモニカメイツの方々に、「講演」の講師には、今県下でご活躍中の始良在住、ジミー入枝様を推薦し交渉は県母連へお願いしました。活動発表は始良の森一江さん、国分支部会長の宮原充子さんにお願ひでき、レクリエーションは始良市母子会員が担当する事になりました。二〇二〇年鹿児島国体イメージソングの「ゆめ、キバイヤンセ」のダンスを船迫先生より指導を受け一年がかりで、ようやく習得でき会場で発表できました。最後に始良音頭で締めくくり一体感を感じました。始良支部、加治木支部と合同練習を数回重ね「親睦」も深まった感じでした。



## 表彰者の声

### 表彰を受けて

志布志支部 岡留 孝子

この度は、永年の功労者として身に余る表彰をして頂き有難うございました。平成十七年に志布志町母子寡婦福祉会の会長に推挙されました。早いもので十四年が過ぎました。これまで、孤立しがちな母子、寡婦の意思疎通や情報の共有、親睦を深める目的で各種イベントや旅行、運動会等に皆様をお誘いし、率先して参加して参りましたが、皆様との有意義で楽しい思い出ばかりが心に残っております。これまでも、大儀なく職責を果たせたのは、関係者の皆様の暖かいご協力、ご支援のおかげと深く感謝している次第です。

母子寡婦の現実には厳しいものもありますが、これからも、皆様と手を携えながら、一致団結し、前進していきたいと思っております。



表彰を受けて

南九州支部 鶴留 ヒサ子

主人が亡くなり三十一年になります。長男が小学校二年生、二男が年長児でした。

約一年が過ぎた頃、母子会の存在を知り入会しました。その頃指宿市で九州地区母子寡婦福祉大会が開催され、全国の守田会長が九十二歳で白の着物を着て背筋を伸ばして、挨拶をされたのを鮮明に覚えています。今回、今までの活動に対して、表彰状を戴き感謝していると、母子会も高齢者になったり、母子部会員の減少でなかなか大変ですが、皆様のご協力を頂きながら会を盛り上げて行きたいと思えます。

皆さまに感謝

始良支部 丸野 充子

本日のこの佳き日、令和元年度に身に余る表彰状を頂き誠にありがとうございます。十五年間支部・市の会長を経て、県の理事、評議員として県母連との連携を計りながら母子会の運営に携わって参りました。これも、ひとえに支え育てて下さった行政のご指導とご協力、会員の方々のご協力があったることと感謝いたしております。

母子会会員が年々減って行く現状です。会員の皆さん、母子会を盛り上げて行きますよう。ご協力をお願いいたします。



第66回九州地区母子寡婦福祉研修大会

期日 令和元年 10月13日(日)・14日(月)  
場所 長崎市長崎ブリックホール



九州大会に参加して

長島支部 坂口 静子

大会テーマ「つなごう人の輪、守ろう地域の輪」で長崎市で開催されました。

一日目、オープニング・開会式後、研修討議があり五名の方がパネラーとして体験発表をされました。

その中のお一人で、福岡県代表の伊藤進一様の「娘達の夢のために」、父子家庭で三人の娘さんの希望や夢を叶えるため、父親としての責任、努力をされ、周りの方の支援や母子寡婦会の制度や協力等を得て、三人の娘さん方もそれぞれ夢を叶えていると発表され感動しました。

二日目、浦川末子先生の講演「皆様への期待〜子どもの将来の幸せのため〜」子どもは愛されることが基本である。母親は子どもにとって『安全基地』である、等大変意義のある講演でした。九州大会に初めて参加しましたが、感動の二日間でした。



九州大会に参加して

入来支部 春田 みずえ

今年度の九州大会は、長崎市で開催されました。研修大会のメインでもある行政説明は、台風十九号の影響で厚生労働省の方が来られないと言いうハプニングもあり、その分研修討議に三時間が割り当てられコーディネーター役の長崎大学教育学部の小西准教授の見事な采配で長丁場を感じさせない素晴らしい研修討議になりました。五名のパネラーの方々も堂々とした発表態度でした。二日目の特別講演は元長崎女子短期大学浦川末子学長でしたが、実に分かりやすく聞き取りやすい講演だったと思います。資料に要点をまとめてあったのも有難い事だったと思います。母子部リーダー研修会の機会にこの資料を配布すれば良いのではないのでしょうか。オープニングの中国変面ショー、十善寺龍踊会によるアトラクションも初めて観るものだったので、十分楽しませていただきました。

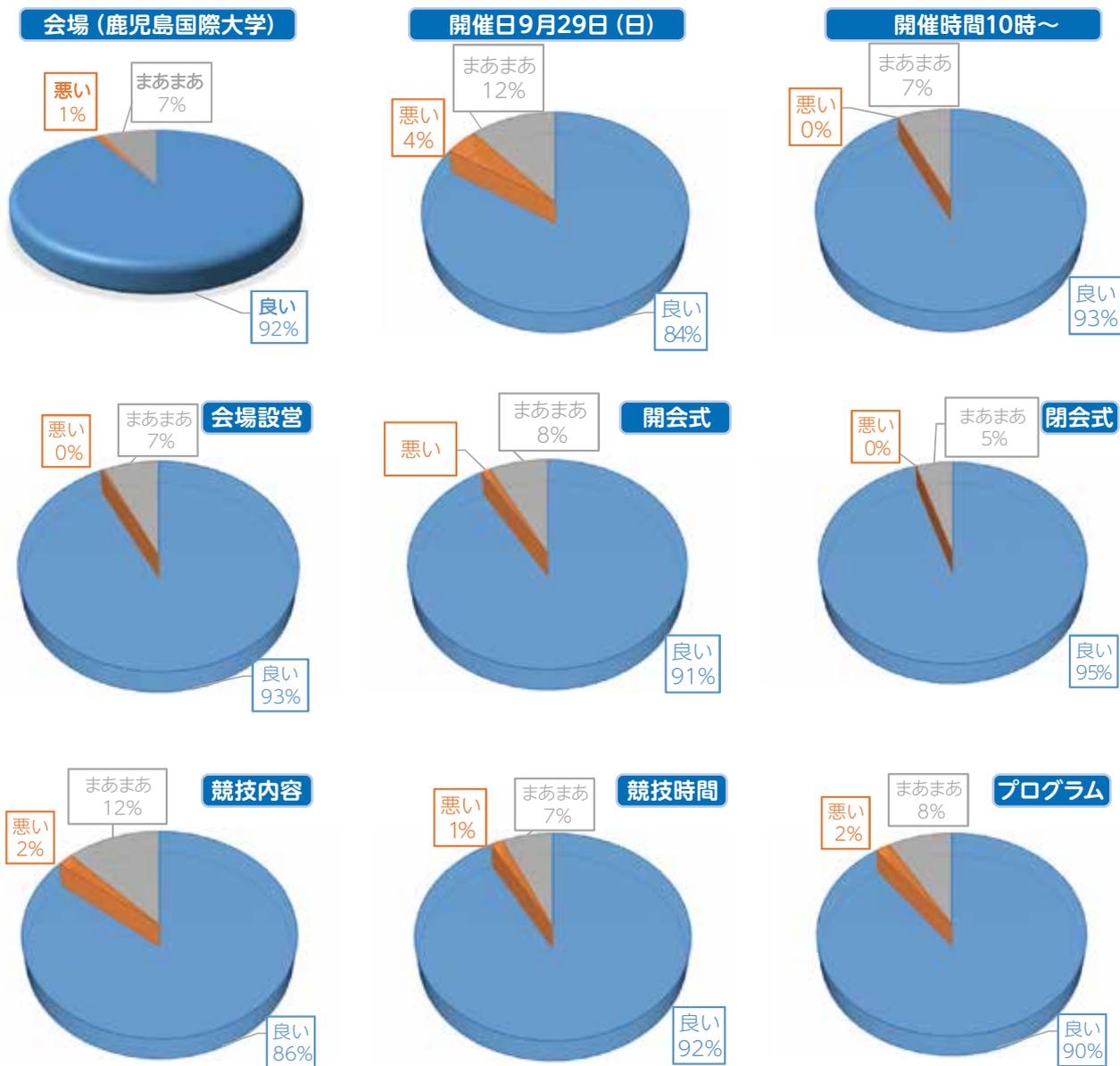
来年は、鹿児島県が当番県になっております。今年の宮崎県大会には是非多くの会員の方々が参加して、鹿児島県大会を盛り上げるように吸収したいものだと思います。



# アンケート結果 (総数288件)

令和元年度 第48回鹿児島県母子寡婦父子家庭大運動会

令和元年9月29日(日)参加人数 700人  
鹿児島国際大学フィールドハウス



## その他・お気づきの点についてφ(・\_・)

- ・会場は、室内競技場で広くて素晴らしい所
- ・9月29日はお天気に恵まれかなり暑かったので、通常通り10月開催に戻して欲しい。
- ・9月は色々な行事も多く日程の変更をして欲しい。
- ・小中学校の運動会と重ならないように子どもの参加が少なく寂しい。
- ・毎年来ていますが、年々参加者が少なくなり寂しく思います。
- ・綱引きがあったのですが、地区によっては男性の参加のないところもあり、男女のバランスなど考えて欲しい。
- ・仮装行列に参加していますが、毎年皆で何日もアイデアを出し合って良き思い出になる楽しい一日でした。
- ・皆色々な仮装を考えているので、アイデア賞などあっても良いのでは？
- ・初めて参加しましたが、遠方から多くの方が参加している事に感心し感動しました。
- ・足が悪く競技に出場できませんが、一日楽しく過ごせました。
- ・他の地区の方とも話も出来るし、毎年楽しみです。
- ・国際大学の学生さんやボランティアの皆さんに感謝です。
- ・この運動会に40年以上参加していますが、毎年嬉しく思っています。





# 100号 記念特集

母子会だよりも昭和53年12月に第1号の発行から令和2年1月で100号を迎える事になり、記念号と題しまして!これまで発行に携わられた会員さんや思いを伝えたい会員さんにお声を頂きました。



## 新年のご挨拶

鹿児島支部 尾前 民子

新年明けましておめでとう  
ございます。

令和の初めてのお正月です  
ね。昭和・平成・令和と  
昔を語れるようになりまし  
た。二十年前に母子会に出会  
い「井の中の蛙」でしたので、  
皆様に支えて頂きながらの毎  
日でした。

県母連ではとまどいと不安  
の中での出発でした。毎年全  
国の会長さん方との会合や厚  
生労働省との会合などとても  
真剣でした。

九州の会長さん方とは、お  
手本になる事を学び苦労を共  
に一喜一憂しながら、戦友の  
ようなかけがえのないお友達  
になりました。

私は、理事長在位三期六年  
間で年齢にはかてませず、リ  
タイヤでした。

皆様のご支援ご協力のお陰  
さまで、お力を頂きました。  
これからは応援団で頑張りま  
す。



## 母子会と共に三十五年

さつま支部 小緑 絹代

夫が他界し、四十九日も来  
ない時の事、町会長さんがお  
悔やみに来られ、川薩大会の  
資料を戴きました。

そして、会員になると、各  
種専門学校で学べる事を知り  
目の前が急に明るくなり、こ  
れからは自分の好きな道を進  
もうと、決心しました。農家  
の嫁でしたが、自由を選べる  
時が来たのです。母は強しで  
す。いずみ学園調理師専門学  
校に通うため、毎朝乗ると黒  
武者キミ子理事長様と一緒に  
なり、ラッキーでした。県若  
星会誕生、母子福祉資金も高  
校卒業迄支給と制度も変わ  
り、助かりました。そして、  
丸野様や久保様方と「母子会  
だより」編集に関わった事等  
思い出は尽きません。

七十五歳位迄、町会長を務  
め、町民表彰を授与、素晴し  
い後継者にも恵まれて安心し  
てお任せし、行事を楽しんで  
います。

これからは、久保理事長様  
を会員皆で支え、益々、鹿児  
島県母子寡婦福祉連合会が発  
展して行くよう願っていま  
す。



### 鹿児島県母子寡婦福祉連合会のあゆみ

年次	月	動き
昭和21年	5	未亡人生活相談大会が開催される
昭和23年	8	未亡人会が誕生し、鹿児島県母子連盟と命名 橋野ハル子氏が会長に就任
昭和25年	12	鹿児島県母子連盟自主解散
昭和29年	5	鹿児島県母子福祉連絡協議会結成式を開催 県婦人児童課内に仮事務所を設置 会長に奥田ノブ氏が就任
昭和30年	4	事務局を自治会館3階に移転
昭和31年	5	県会長改選、入鹿山フヨ氏第2代会長に就任
昭和33年	5	県会長選、奥田ノブ氏第3代会長に就任
昭和35年	5	県会長選、大川八重氏第4代会長に就任
昭和37年	4	会名を鹿児島県未亡人団体協議会と変更
昭和39年	2	県社会福祉会館4階に母子福祉センター (事務局移転)
昭和40年	5	本会の社会福祉法人が認可され、 社会福祉法人白百合福祉会と改名
昭和46年	10	九州地区母子福祉大会が鹿児島県で開催 (鹿児島県文化センター)
昭和49年	1	鮫島ツテ氏第5代理事長に就任
昭和49年	5	役員改選により黒武者キミ子氏が 第6代理事長に就任
昭和52年	6	県社会福祉センター5階に事務局が移転する
昭和53年	5	創立25周年記念事業として、 文集「私たちの声が聞こえる」を発行
昭和53年	12	鹿児島県「母子会だより」第1号を発行、 全会員に配布する(年2回発行)
昭和54年	2	社会福祉法人鹿児島県母子福祉連合会に 会名変更
昭和54年	9	「鹿児島県母子の歌」と「鹿児島県母子音頭」 を作成レコードを出す
昭和55年	10	九州地区母子寡婦福祉研究大会を開催(鹿児島市)
昭和58年	4	社会福祉法人鹿児島県母子寡婦福祉連合会に 会名変更
昭和59年	2	創立30周年記念県母子寡婦福祉大会開催 (鹿児島市民文化ホール)
昭和60年	5	創立30周年記念誌「風雪三十年」を発行
平成3年	10	第38回九州地区母子寡婦福祉大会を開催 (指宿市体育館)
平成6年	2	創立40周年記念県母子寡婦福祉大会 (鹿児島市民文化ホール)
平成8年	1	創立40周年記念誌「風雪四十年」を発行
平成13年	5	黒武者キミ子理事長が全国母子寡婦福祉団体協 議会会長に就任
平成13年	9	第48回九州地区母子寡婦福祉研修大会を開催 (鹿児島市民文化ホール)
平成14年	8	県母子寡婦福祉連合会「若星会」を設立
平成15年	11	「母子家庭等就業自立支援センター」を 県より委託開設
平成15年	11	創立50周年記念出版 「私たちの歌が聞こえる 第2集」 ならびに復刻版第1集を発行
平成15年	11	創立50周年記念鹿児島県母子寡婦福祉大会を 開催(鹿児島市民文化ホール)
平成18年	5	役員改選により有村壽子氏が第7代理事長に就任
平成22年	5	役員改選により尾前民子氏が第8代理事長に就任
平成23年	10	第58回九州地区母子寡婦福祉研修大会開催 (鹿児島市民文化ホール)
平成25年	9	鹿児島県母子寡婦福祉研修大会 (創立60周年記念メモリアル大会) 鹿児島市民文化ホール 担当肝属地区
平成28年	5	役員改選により久保郁子氏が第9代理事長に就任

### 平成を顧みる

牧園支部 南郷 ヒロ子

令和新年おめでとうござい  
ます。平成九年に、友人に誘  
われ支部会に入会し、何も分  
からないまま代表となりました。  
今より若かったせいも  
知れませんが、今思えば思い  
切った事をしたもんだと心が  
震える思いです。私が入会し  
てから理事長が四代目、会員  
減少の中、尽くして下さる姿  
を見ると頭が下がります。有  
難い事に生活支援は元より職  
業支援もあり、多くの方が  
支援を受けています。母子部  
の方は講習会に参加し、パソ  
コンや、介護、医療事務など  
の資格を身に付けて、就業す  
るなど頑張っています。寡婦

は昭和の時代に諸先輩方が築  
き上げたこの県母子会を潰す  
事はできないと、努力してき  
ました。私自身、三十年には、  
表彰を頂きました。会員と  
共にした彰だと感謝していま  
す。これからも益々県母子会  
が発展して行く事を心よりお  
祈りしております。

### 母子会への思い

始良支部 上山崎 トシ子

体調を崩してやっと歩ける  
ようになった時、丸野会長に  
出会い県や地区主催の行事に  
参加しました。その度に生き  
る源をいただいたように思い  
ます。

大運動会には、忘れ難い  
思い出が沢山あります。入場

行進では、メイנסタンドで  
「挙手の礼」まるでオリンピック  
の選手みたいに入場しまし  
た。そして年代別の徒競争・  
高齢者はそのメイソ種目に出  
場できるのですから感激も一  
入です。もちろん私もその一  
人。一生懸命走る人、二・三  
人で腕を組んで歩く人、また  
どの種目でも、時間通りの運  
営に頭の下がる思いでした。  
楽しい昼食、仮装行列、最後  
の対抗リレーでは皆総立ちで  
応援しました。

地区研修大会では、講師の  
話に耳を傾け、昼食後は知ら  
ない人同士が笑顔で話が出来  
るのも、母子会ならではの  
と思います。その地方の名所に  
も案内して貰い楽しい一日を

終え、そんな母子会の一員で  
ある事を誇りに思います。  
二年前に「めまい」で、倒  
れてしまい、現在出席出来な  
い事は残念ですが、皆様の御  
健康と母子会の発展をお祈り  
申し上げます。

### 「母子会だより」

発行100回を記念して

奄美郡島母子寡婦福祉会会長

師玉 敏代

母子会だより100号発  
行を迎えるにあたり、一言お  
祝いを申し上げます。顧みま  
すと携わり、広報誌として記  
録し、会員の皆様に途切れる  
事なく発行されてきました事  
に、心から敬意と感謝申し上  
げます。そこには永年の地区

の活動や、ひとり親政策の充  
実の移り変わりと歩んできま  
した歴史が記録として後世に  
引き継がれていく貴重な活動  
だと思えます。思い起こせば、  
第62回県母子寡婦福祉研修大  
会を奄美市で開催できました  
事は一番の思い出です。奄美  
郡島は、初夏の世界自然遺産  
登録の実現に向けて、住民一  
人ひとりの取組み、気運の醸  
成に向けて頑張っています。

母子寡婦福祉会の会員の増と  
組織運営は厳しいものがあり  
ますが、私達寡婦が子育て中  
のひとり親の力になり、県の  
委託事業や日常生活支援事業  
を行政と連携を図り両サイド  
での支援体制を目指していま  
す。



☆鹿児島明倫ライオン  
ズクラブ様より3万  
円頂きました。  
☆中園商事様より1万  
円、近松商店様より  
1万円頂きました。

寄付金  
ありがとうございます  
ございます

2020年度

**夢を応援基金**  
ひとり親家庭支援奨学金制度

この奨学金は、ローソングループと全国母子寡婦福祉団体協議会が力を合わせ、ひとり親家庭の生徒さんに応援する給付型奨学金です。



- ◆奨学金額  
月額3万円（給付型のため返還は不要）
- ◆対象者  
中学3年生、高等学校1年～3年、  
高等専門学校1年～3年等に在籍する生徒
- ◆募集人数  
全国400名（選考により決定）

**2020年2月下旬頃 募集開始予定**

※詳細につきましては全国母子寡婦福祉団体協議会のホームページにてご確認ください。

令和元年度 地区大会



会場	開催日
①鹿児島地区	令和元年 7月 4日：台風にて中止
②南薩地区	令和元年12月 2日：枕崎市サンフレッシュ枕崎
③日置地区	令和元年11月22日：東市采市文化交流センター
④川薩地区	令和元年11月24日：宮之城ひまわり館
⑤始良・伊佐地区	令和元年 9月10日：県母連研修大会併合開催
⑥曾於地区	令和元年11月10日：大崎町中央公民館
⑦肝属地区	令和元年11月16日：東串良総合センター
⑧熊毛地区	令和元年 7月 7日：西之表市民会館
⑨出水地区	令和元年12月17日：長島町保健センター

令和元年度 事業計画

- 令和2年1月25日 第2回母子部リーダー研修会
- 令和2年2月16日 母と子の日帰り交歓研修会
- 令和2年3月13日 第4回理事会
- 令和2年3月21日 第2回評議員会

台風19号による災害に遭われた皆様、心よりお見舞い申し上げます。  
鹿児島県母子寡婦福祉連合会会員一同、一日も早い復興を祈念申し上げます。

**会員さん  
大募集中!!**

お問い合わせは県母連へ  
**099-258-2984**